IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN

岩木川ダム統管だより

017号
2018年
9月28日

IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN

“津軽ダム景観講演会” 開催

～『ダムをデザインしてきてわかった事』～



津軽ダムイメージキャラクター
ペッカー君



篠原東京大学名誉教授



講演会場の様子

平成３０年９月１５日（土）“津軽ダム”が立地する西目屋村において、“津軽ダム景観講演会”を開催しました。

この講演会は、津軽ダム建設にあたって、世界自然遺産白神山地を有する西目屋村にふさわしい自然環境と調和するデザインが必要であることから、学識経験者、利水関係者、ダム事業者、ダム建設工事業者、設計担当業者などによる『津軽ダム景観検討委員会』を設立し、津軽ダム堤体や付属設備について模型や図面により意見交換を行い、ダム建設に反映させました。

その成果として、“グッドデザイン賞２０１７”において直轄ダムとしては全国初となるグッドデザイン賞を受賞しました。今回、その受賞を記念して、当時「津軽ダム景観検討委員会」の委員長であった 篠原 修 東京大学名誉教授 に「ダムをデザインしてきてわかった事」と題して、津軽ダム建設過程で“世界自然遺産白神山地の玄関口”へのダム建設にあたっての『周辺環境への配慮』や『周辺環境と調和するデザイン』等の他、苫田ダム、横川ダム等におけるご経験を講演いただきました。

景観講演会は、定員をはるかに上回る申し込みがあり、多くの来場者は興味深げに耳を傾けていました。

津軽白神湖
Tsugaru-Shirakami-Lake

岩木川改修100周年･白神山地世界自然遺産登録25周年記念

津軽白神湖まつり



平成３０年９月１５日（土）、岩木川ダム統合管理事務所“津軽ダムパーク”において、『津軽白神湖まつり』を開催しました。

このまつりは、今年が岩木川改修１００周年・白神山地世界自然遺産登録２５周年の節目の年にあたることから、津軽ダム立地村である西目屋村が主体となって実施したものです。

当日は天候にも恵まれ、約１，５００名の来場者は絶好の青空の下、『カヌー・ＳＵＰ体験』、『水陸両用バス』や『津軽ダム堤体内部見学』など、貴重な体験を満喫していました。

また、ステージイベントでは『岩木川＆白神山地クイズ大会』や、関西目屋村長、ＮＰＯ法人岩木川と地域づくりを考える会の佐々木会長、そして歌手で“好きです西目屋ふるさと親善大使”の吉幾三さんを交えて岩木川や津軽ダムに関する『トークショー』など多彩なイベントで盛りあがりました。

そしてこの日最大のメインイベントが、コンジットゲートからの『記念放流』です。大勢の来場者は、カウントダウンに続いて水が勢いよく流れ出る“放流！！”の迫力に大歓声をあげ、大満足の様子でした。会場には、岩木川流域自治体による特産物の販売ブースも並び、来場者は行列をつくり、お腹も大満足な１日を過ごしました。



▲「津軽ダムパーク」賑わいの様子











▲『コンジットゲート』からの放流を見ようと、集まる沢山の来場者

「津軽白神湖まつり」に来ていた人に聞いてみました！



●弘前市在住
川越さんと工藤さん

【感想】津軽ダムを見て、こんな大きい構造物を造るって『人の力ってすごいな！』と思いました。ダムが出来るまでの歴史と努力が感じられました。

北海道胆振地方中東部地震

TEC－FORCE《緊急災害対策派遣隊》

「帰 還 式」を実施



△「帰還式」の様子△



△支援活動状況を報告する
岩渕保全対策官△

平成３０年９月６日に発生した北海道胆振地方を震源とする地震の被害状況把握、技術的支援を目的に岩木川ダム統合管理事務所から派遣されていたＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ（緊急災害対策派遣隊）が14日、無事任務を終えて帰還しました。当事務所からは、応急対策班班長として岩渕保全対策官が９月９日から厚真町、鵡川町、日高町で復旧工事現場や自衛隊給水支援場所での照明活動、東北各地から派遣された照明車や遠隔式バックホウの管理運用に当たりました。岩渕保全対策官は、「道路状況が非常に悪く現場までたどり着くのが大変だった。給水支援場所では自衛隊員から喜ばれた。待機しているオペレーターのモチベーションを保つことが難しかった。」と振り返りました。

東北地方整備局では、今後も災害復旧の見通しの目処が立つまで、引き続き支援をしていく予定です。



照明車を使った現地での活動の様子

●TEC－FORCE（テック・フォース）とは

TEC-FORCE（Technical Emergency Control FORCE）とは、国土交通省「緊急災害対策派遣隊」の通称。

大規模自然災害が発生または発生する恐れがある場合に、地方公共団体等の要請に基づいて、被災状況の迅速な把握、二次被害の発生・拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に行うことを活動目的として、2008年4月に創設されました。

隊員は、災害対応を経験・日々現場で技術の研鑽を積む職員など全国の各地方整備局等の職員が選出され、活動しています。

お知らせ

浅瀬石川ダム
管理30周年記念シンポジウム

30th 浅瀬石川ダム 管理30周年

●_開催日時：平成30年10月11日（木）
13：00～

●_場　　所：津軽伝承工芸館

●_内容：コーディネーターに弘前大学大学院地域社会研究科土井准教授をむかえ、基調講演、パネルディスカッションを行います。貴重なお話しが聞けるチャンスです。またオープニングでは、“津軽三味線”演奏もあります。お楽しみに！



皆様のお越しをお待ちしています。

浅瀬石川ダム
イメージキャラクター
あっちゃんとパパ

詳しくは岩木川ダム統合管理事務所ホームページ　http://www.thr.milt.go.jp/iwakito/

管理30周年
浅瀬石川ダム記念カード

記念カードは、9月22日から浅瀬石川ダム資料館で配布しています。



《表面》



《裏面》

※このカードは、公式のダムカードではありません。

津軽ダムにきました！

●青森帰省中にご家族と「津軽ダム」を訪れた
小林さんご一家に感想を伺いました!!●



△東京都からお越しの小林さんご一家△

帰省の為、青森に帰ってきました。家族みんなで、初めて『津軽ダム』に来ました。
『津軽ダム』は思っていたよりスケール感があって、すごくきれいなダムで感動しました。景色も良かったです。ただ、雨降りだったのが残念です。

津軽ダムに来ていた方にお話しを聞かせていただきました。
とても明るく笑顔が素敵なご夫婦、3人のかわいいお子様。そして写真には写っていませんが、ご夫婦のご両親と大家族でいらしていた小林さんご一家。雨が降る中、突然のお願いにも快くインタビューに答えていただき、本当にありがとうございました。

★今後も津軽ダムに来ていただいた県外の方を中心にインタビューをしたいと考えております。積極的なご協力をお願いします。

秋のライトアップ告知

“浅瀬石川ダム”・“津軽ダム”では、「秋のライトアップ」を実施します。
“浅瀬石川ダム”は、黒石市の『中野もみじ山ライトアップ』に合わせて、また“津軽ダム”では、世界自然遺産白神山地が迎える『紅葉の見頃』に合わせて実施します。



▲浅瀬石川ダムレインボーで照らします。

▼30分で7パターンのカラーで照らします。



“浅瀬石ダム”・“津軽ダム”共に

★実 施 日：平成30年 10月10日（水）
～
11月 4日（日）

★実施時間： 17：00 ～ 21：00

※写真は今年の「夏のライトアップ」

●岩木川ダム統合管理事務所ホームページ　http://www.thr.milt.go.jp/iwakito/

編　集　後　記

１０月を目前に控え、秋っぽさも日増しに強くなる時期になりました。気候的にも、朝晩の冷え込みと日中のポカポカ陽気が非常に心地よく感じ一番好きな季節です。これから燃えるような“世界自然遺産白神山地”の紅葉が本番を迎えます。当事務所ホームページでも、10月から土日・祝日を除く毎日、定点観測で浅瀬石川ダム・津軽ダムの紅葉見頃情報を皆さんにお知らせする予定です。楽しみにしていて下さい。

話はがらっと変わりますが、例年どおり津軽ダム周辺では“カメムシ”が出没しはじめています。昨年も10月が最盛期でしたが、忘れないでよく出てくるものだな～と感心します。これからまた、管理庁舎内に入り込んだ“カメムシ退治”の季節だな～とちょっと憂鬱な気分になりますが、職員一丸となって退治します。　（船水）

編集・発行
国土交通省　東北地方整備局
岩木川ダム統合管理事務所

〒036-1422
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平字寒沢138-2
TEL　0172-85-3035
FAX　0172-85-3061

岩木川ダム統合管理事務所
ホームページアドレス
http://www.thr.milt.go.jp/iwakito/